

マリ共和国に対する無償資金協力「脆弱な地域における「みんなの学校」モデルに基づく児童の教育推進計画（ユニセフ連携）」に関するE／N署名式

2023 年 10 月 6 日（金）、マリのユニセフ事務所において、上 藺英樹日本大使と国際連合児童基金（ユニセフ）マリ事務所長のピエール・ンゴム所長は、多くの関係者の出席の下、「脆弱な地域における「みんなの学校」モデルに基づく児童の教育推進計画」に関する交換公文に署名しました。

ユニセフが国際協力機構（JICA）と共同で実施し、日本が370 万米ドル（約5.2 億円）の支援を 3 年以上の期間にわたり提供する本計画は、日本の対マリ無償資金協力の一環として行われます。

本計画は、バマコ、ノソンググ、ディオイラ、ファナ、マシギ、クリコロ、バコジコロニにある合計 432 校を対象に、脆弱な立場にある児童、特に女子児童の教育アクセスを向上させ、教育の質を高めることを目的にしています。

